

とくしまの魅力を伝える



AI/TOKUSHIMA



阿波藍

令和元年度
文化庁「日本遺産」に
認定されました



令和5年7月
徳島県議会

とくしまの魅力と実力 ～『宝の島・とくしま』～

防災・減災対策の推進

災害から県民を守り、迅速かつ円滑な復旧・復興を図るため、「再度災害防止」と「事前復興」を取り入れた県土強靱化を進めています。「徳島県復興指針」を策定するとともに、徳島南部自動車道の整備促進、自主防災組織の能力向上をはじめとする具体的な取組を推進しています。



総合防災訓練



「スマート農業技術」の開発・実装

県立農林水産総合技術支援センターでは、施設栽培トマトにおいて、病虫害発生状況をAI画像解析し、適期防除することによる農薬の使用量低減技術の開発及び、レンコンやニンジンにおいて、農薬散布ドローンや温度などの環境観測システムを活用した省力・安定生産技術の実装を進めています。



農薬散布用ドローン



全国最大規模の木育ミュージアム

全国初の県立木育ミュージアム「徳島木のおもちゃ美術館」は、県産材を使ったおもちゃや展示を通して、幅広い世代の方々が楽しみながら木の魅力や地域の自然、伝統・文化に触れられる体験型の美術館です。



木のおもちゃ美術館



道路と鉄道の二刀流「DMV」

世界初となる本格営業運行を行っているDMVこと「デュアル・モード・ビークル」は、車体を変換させ、道路と鉄道の両方をシームレスに走ることができます。車両自体が観光資源となり、新しい人の流れを創出することで地域の活性化に寄与します。



DMV



【徳島県は「2025年大阪・関西万博」に参画します！】

徳島県は、万博会場に「徳島パビリオン」を出展し、サステナブルが息づく徳島発のライフスタイルや、先駆的な未来技術を世界に向けてPRします。

さらに県内では、県全域をパビリオンに見立てた「徳島『まるごとパビリオン』」を全県展開することにより、本県への新たな人の流れを創出するなど、次代を担う子どもたちをはじめ、県民の皆様が夢や希望を実感できる「徳島の未来社会」をデザインしていきます。

徳島県の取組コンセプト

万博はゲートウェイ
徳島まるごとパビリオン

～ 県民が参画し、県民が創る万博 ～



県勢概要

面積：4,146.99km² (R4.10.1)
人口：719,704人 (R2.10.1)
県庁所在地：徳島市 (人口252,364人 (R2.10.1))
市町村数：8市15町1村
県の木：やまもも
県の鳥：しらさぎ

県の花：すだちの花
県の色：藍色
最も高い山：剣山 (標高1,955m＝四国2位)
最も大きい川：吉野川 (長さ194km＝四国2位、流域面積3,750km²＝四国1位)

「新たな文化」によるにぎわい創出

徳島市中心部を舞台に毎年春と秋に開催されるアニメやゲームなどの「新たな文化」を活用した市街地周遊型イベント「マチ★アソビ」により、人の流れの創出や地域経済の活性化、文化芸術の振興を目指しています。



マチ★アソビ

新たな救急医療施設

令和5年5月にオープンした県立中央病院ER棟（南館）は、救急・感染症外来をはじめ、発災時には災害対策本部などの役割を担うほか、5G通信環境を活用した先進的な遠隔医療による地域医療支援機能など、複合的な機能を備えています。



県立中央病院
ER棟（南館）

特色と魅力ある教育環境

「誰一人、取り残さない教育」を目指す全国初の県立夜間中学校である「徳島県立しらさぎ中学校」や、地方と都市の2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる新しい学校のかたちである「デュアルスクール」など、多様な学びの場があります。



しらさぎ中学校



詳しくはこちら

- ・徳島県ホームページ

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/>



- ・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」

<https://www.awanavi.jp/>



【まだまだあるとくしまの魅力と実力！】



阿波藍や阿波人形浄瑠璃、ベートーヴェン「第九」アジア初演など、優れた文化・歴史があります。

400年以上の歴史
阿波おどり



四国三郎とも呼ばれる吉野川や西部の秘境祖谷や剣山、南部沿岸部の千年サンゴやサーフスポットなど、豊かな自然環境に恵まれています。

迫力満点！鳴門の渦潮

自然条件を活かし特色ある農林水産業が盛んな食材の宝庫。木を余すことなく活用する加工体制もあります。

世界農業遺産にし阿波の傾斜地農耕システム



光関連産業の発展に加え、深紫外線など次世代の光を活かした新産業の創出、全国屈指の情報通信網などにより、経済成長を目指しています。

LEDといえば徳島、次世代の光も徳島



時代に即応した議会を目指して

“議会改革”推進中

徳島県議会は、「議会は自治体の最高責任者である」との認識の下、県民の負託に全力で応え、これまで進めてきた様々な議会改革の取り組みを後戻りさせることなく、継続して取り組むため、重点的に取り組むべき方策やその具体的な数値目標を定めた「議会改革行動計画」を策定し、同計画の趣旨に沿って各種施策を実施しています。

★議会改革行動計画（第3期）〔計画期間：令和元年度～令和4年度〕における主な取組

【議会ICT化の推進】

飛躍的に発展しているICT技術を活用することにより、さらなる効果的な議会運営や業務の効率化を図るとともに、情報収集や調査活動の活性化等による議会機能の充実・強化を図っています。

- 情報通信環境及びタブレット端末の整備(令和3年9月定例会整備)
- ペーパーレス会議システムの導入(令和3年9月定例会導入)

【災害対応力の強化】

切迫する南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害発生時においても、県議会が、県の意思を決定する議事機関としての機能を十分に発揮できるよう、大規模災害発生時における議会、議員の基本的な行動などを定めた議会版BCP（業務継続計画）を策定しました。

- 議会版BCPの策定(令和3年3月策定)

【誰もが政治参加しやすい環境づくり】

若者、子育て世代、障がい者などの政治への関心を促し、政治参加につなげるため、議会が利用しやすい環境を整備するとともに、議会を身近に感じてもらえる取組を推進しています。

- 点字版議会だよりの発行(令和2年5月から発行)
- 広報動画「教えてすだちくん みんなの徳島県議会劇場」の作成(令和4年3月県議会ホームページに掲載)

【その他の取組】

- 議会の年間日程の作成・公表(令和2年度の年間日程から県議会ホームページに掲載)
- パーキングパーミット制度を利用した駐車場の整備(令和3年7月整備)

★これまでに実施した主な取組

【議会機能の強化】

- 議会基本条例の制定 ○県行政に係る基本計画議決条例の制定
- 大学との包括連携協定締結及び事業の実施
- 政務活動費の適正な執行と透明性の確保
- 議員提案政策条例の制定及び検証

【効果的な議会運営】

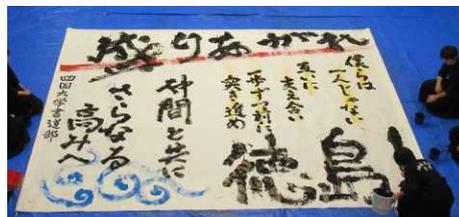
- 議案、委員会記録及び資料のホームページ公開
- 各議員の議案、請願に対する表決態度(賛否状況)のホームページ公表
- 決算認定審査の見直し(議案の早期議決)
- 委員会の県内視察における各種団体等との意見交換会の開催

【開かれた議会】

- 正副議長の定例記者会見 ○議会活動展示パネルの設置
- 高校生と県議会議員との意見交換会の実施
- 夏休み中学生県議会体験会、県議会小学生社会見学ツアー、議会見学会の実施 ○徳島県議会表彰の実施
- 議会コンサート、書道パフォーマンスの開催



〈ペーパーレス会議システムの導入〉



〈書道パフォーマンス〉

「藍とくしま」ロゴマーク等について

漢字の「藍」をモチーフとした「藍とくしま」ロゴマークと、「鳴門の渦潮」や「祖谷の雲」「徳島の大地」をイメージした組合せデザイン「紺藍海波紋」(くみあいがいはもん)です。県がアーティストの野老朝雄(ところあさお)氏に依頼し、作成したものです。

徳島県議会においても、議員提案により「とくしま藍の日及び徳島県の色を定める条例」を制定し、7月24日を「とくしま藍の日」、7月を「とくしま藍推進月間」、藍色を「徳島県の色」と定めることにより、藍に対する関心と理解を深め、藍に関する文化の継承と産業振興を図り、国内外に藍の魅力を発信していきます。

◆徳島県議会の最新情報はこちら！ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>

